

令和8年度 ノホコの丘小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：24520

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
◇児童アンケート「学年の先生や 友達と一緒に学ぶことで、自分の目標をもって楽しく学ぶことができますか。」に対して、95%の子どもたちが肯定的な回答をしている。 ◇全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。」に対して、80%の子どもたちが肯定的回答している。 ◇学校研究で探究的な学習を推進してきた結果、学習に対して主体的に取り組む姿勢が培われ、学習への楽しさを実感している児童が多くなってきている。	◇全国学力・学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか」の結果から、自分の考えに対して自信をもって発信することに苦手意識を感じている子が多い。 ◇基礎的な学力の定着により、児童の自信と発表への意欲につながる様子が見られた。基礎的な学力を高めると同時に、友達の考えから思考を深められる話合いの場を構成するといった工夫を凝らす必要がある。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
◇全国学力・学習状況調査「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」に対して、ノホコの丘小学校では 90%と肯定的な回答が多い。また、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」に対しても 95%が肯定的な回答をしている。友達とのつながりを大切に日々の生活を過ごしている子どもたちの姿を年度初めには学活「ぼかぼか言葉」を全学年で実施し、温かい気持ちや言葉で友達と接する意識を高めている。引き続き、自分の行動に自信をもてるような場や価値付けを重要視していく。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

進んで、温かく、生き生きと学習に取り組む力

	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	◇研究主題「進んで学び、温かく、生き生きとした子の育成」の実現 →自らの学びの歩みに納得し満足できる子どもを目指す。 進んで（目標への意欲・主体的） 温かく（協働性・対話的） 生き生きと（学びの広がりや深まり・自信） ◇研究副主題「知識が駆動する授業を目指して」の実現 →子どもが学びに没頭する教材化 →子ども思考を深めるための教師の関わり を意識し、45分間子どもたちが常に頭を働かされる授業構築を行う。	◇よりよい学年・学級集団を目指すための活動の充実 →「あいさつのめあて」や「ノホロスポーツウィーク」での、学年の実態に応じた目標を設定する話合い活動を実施する。 →「遠足」「学習発表参観」での、活動内容や発表内容を決定する学級活動を実施する。 →子どもたち自身による学年朝会の企画・運営を行う。 ◇自分たちの生活や活動の成果を振り返る場の設定 →キャリアパスポートで目標設定と振り返りを行う。 →委員会活動の活動成果を全校朝会で共有する。

〈本プログラムの実行に向けて〉

